



## ● インヴィニオ

# 発想を解き放て 研究開発型の研修スタイル

“イノベーション”が企業の自己変革のキーワードとなってきた。それに伴いコンサルタントにとっても、イノベーションを起こす人材・チーム・組織の育成が重要テーマとなりつつある。いかに育てるか？ 組織開発コンサルティングを手掛けるインヴィニオでは、研修スタイル自体のイノベーションに挑み、その挑戦経験をクライアントに役立てようとしている。

### 脱学習・脱常識

「研修は、ノウハウを身に着的ける学習の場——これ自体が固定観念。イノベーションに必要なのは脱学習＝身に着的けた知識・考え方を脱ぎ捨て、発想を解放させる研修が必要」とインヴィニオCHINA 董事長の大城昭仁氏は語る。「そのためには我々自身が、脱常識の研修スタイルを開発しつづけるしかない」

直近では日清食品から、創業60周年記念研修の依頼で開発したすごろく研修がある。「グローバル全社に企業理念を浸透させたい——

ただし今までにないやり方で、という依頼内容だった」と大城氏は振り返る。

すごろく研修はサイコロを振って駒を進めながら、各升目のQRコードからデータベースにアクセスし、会社の歴史を学んだり、チームのアイデアを発表する。互いに「いいね!」を押して支持を表明し、獲得数が多かったチームを表彰する、というもの。SNS的な要素を楽しみながら、創業理念、社員としての共通の価値観、会社の歴史の共有を図る。現在までに5言語バージョンを制作して好評を得ているという。

### 戦略的な組織づくりを

こうした独自開発のゲームによる経験学習は、同社の差別化ポイントだ。本誌でも過去に取り上げたホテルの経営不振の原因を探る問題解決ゲームや、部門長となって売上を競う対戦型マネジメント・シミュレーションは、いずれも学習者を、固定観念や自己流の手法から“外に出させる”ことに主眼を置いていた。前者は名門ホテル、後者はゲーム開発会社と共同開発するなど、自らがオープンイノベーションのスタイルをとっている。

中国ビジネスはとうに予選リーグを終え決勝トーナメントが進行中、というのは同社が数年前から繰り返している持論。「景気ではなく、戦略の良し悪しが企業の存亡を分けるステージだ。いかに戦略的な組織をつくりだすか、常に我々自身にも突きつけている」と大城氏は語る。



日清食品のすごろく研修。研修というものの既存概念や枠をどう取り払うか、インヴィニオ自身もイノベーションに挑んでいる

### 英必諾企業管理諮詢(上海)

■ 上海市徐匯区天平路320弄  
衡山坊25号4楼  
☎ 021-6437-0001  
✉ infochina@invenio.jp  
🌐 www.invenio.cn/